

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

電子カルテの情報解析プラットフォームと臨床情報データベースの構築**1. 研究の対象**

2009年4月1日 から2028年3月31日までの期間中に、東海大学医学部付属病院を受診または入院した患者

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2030年1月31日 まで

25.4.14

3. 研究目的・方法

目的 病院の電子カルテに格納された診療記録は、医療の向上と医学研究のための貴重な情報源です。そこで、東海大学医学部付属病院の電子カルテに対する情報解析を組織的かつ大規模に実施して、新たな医学知識を生み出すことをめざします。具体的には、2000種類ある疾患の間の関係を分析し、疾患の全体構造を明らかにします。また、新型コロナウイルス感染症などの社会状況の変化が疾患の出現傾向にどのように影響したかを明らかにします。以上を通じて医学と医療の発展に貢献することをめざします。

方法 過去15年分の東海大学医学部付属病院の全電子カルテ（画像を含まない）から個人を特定できる情報を削除した匿名化情報を作成し、「情報解析プラットフォーム」に格納します。次に、疾患と治療法と薬剤についての統計情報を取りだして、臨床情報データベースに格納します。その統計解析により、異なる疾患の間の関係を表示する疾患ネットワーク・グラフを作成します。また、感染症パンデミック等の社会的なイベントが疾患の出現傾向に与える影響を研究します。以上の研究成果を論文や学会にて発表します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：診断名、治療方法、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、細菌培養検査、細胞検査）、入退院日、処方薬をはじめとする全記録（個人を特定する情報を除く）
- ・ 試料：なし

5. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等を外部機関に提供する予定はありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2140）

研究責任者 医学部医学科基礎医学系分子生命科学 今西 規

問い合わせ担当者 医学部医学科基礎医学系分子生命科学 事務局 田代 美佐子